

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	NPO 法人棚田 LOVERS
活動タイトル	他団体と連携で、活動継続の仕組みづくり、里山・棚田保全の発信力向上活動
活動地域	兵庫県神崎郡市川町



6月18日：田植え体験の様子（集合写真）



9月16日：稲刈り体験の様子（集合写真）



9月18日：棚田の維持管理・草刈りの様子

### 【団体概要】

美しい棚田を未来の子どもたちにつなぐために2007年から17年間活動を継続。

お米を育てる活動や自然体験を中心に年間60プログラム程度実施。

それらを通じて農・食・環境・生物・の大切さを伝えている。

ぜひ棚田に遊びに来ていただいて、大自然を満喫してください。

### 【活動の目的・目標】

若者、家族連れの農作業体験300名、棚田フェス1500名を参加目標とし、里山の素晴らしさを伝え、実践を通じた保全を行う。本事業により、3枚の棚田（放棄田：約1000㎡）、石垣の再生、植樹6本を行い、里山再生に寄与する。自団体としても事業基盤を強化し、持続的に取り組む。

### 【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

猛暑が続き、その影響で草の成長も大きく、熱い中で草刈りに非常に苦労した。その中で地域や多くの団体と連携することで、多くの方々にお越しいただき、より効果的な事業にすることが出来た。また、集客も苦労したが、少人数でも深く環境や棚田の事が伝わるように実体験を中心に工夫した。

### 【活動の内容・成果】

開催回数：10

参加人数：120

達成率：50%

2023年4月から9月にかけて、兵庫県神崎郡市川町の棚田で地域の方々や都市の方々と棚田の保全再生を行った。

事前・事後に活動継続の仕組みや里山・棚田保全の発信力向上についてエコネット近畿などの団体と話し合いを重ねた。

その成果として、「棚田を知る機会でもあり、都会では味わえない自然を感じることができ、より自然保護に貢献したいと考えるようになりました」、「棚田の大切さ、継続する難しさ、そこで続けておられる方の苦労を間近でわかり、共感した」という感想が得られた。

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



イベントのための会議の様子  
より効果的な企画になるように中間支援団体のエコネット近畿の方々などとズームで打合せを行った。（毎月定期的に1回実施）



6月18日田植え体験の様子



9月16日稲刈り体験の様子



9月18日  
棚田の維持管理のための草刈り、整備の様子